調査活動／地域での活動

防災講習会

1月30日（日）、町会として防災訓練を行いました。
今年はコロナ禍のため、対象を役員に限定した講習会とし、杉並区防災課から「杉並区の防災対策」について説明を受けました。

＊一昨年までは、近隣の区立中学校をお借りし、消防署や区の協力を得て、幅広く参加者を募る体験型訓練（消火器取扱訓練やAED訓練、起震車体験等）を行っておりました。

私自身は、**町会防災担当として、杉並区防災課との調整や、当日の進行管理を担当**しました。
いざという時に少しでも落ち着いて対応できるよう、自身の知識を深めていくとともに、参加者からの意見等を、区政にも活かしていきたいと思います。
なお、町会の一員として参加している「年末夜警活動」や「町内清掃活動」での気付きも、区政に活かしていきたいと思います。

ゲストティーチャー

3月12日（土）、小学校で行われた「“先輩に学ぼう” キャリア教育」の授業に、**ゲストティーチャーの一人として参加**しました。
当日は、約20分間（×3回）で、「区議会議員」という仕事の内容やこの仕事を選択した理由、仕事の大変さ・喜び等について話した後、子供達からの質問に答えました。

キャリア教育でのゲストティーチャーも、今回で5年目となりました。
子供達が多様な大人に触れ、様々な考え方に接することが出来るこうした授業は、まさに**地域と連携した教育**だと思います。
地域の大人のひとりとして、今後とも積極的に参加するとともに、授業参加を通して得た学校現場の状況を、杉並区の教育力向上に活かしていきたいと思います。

オンラインセミナー

コロナ禍では、オンラインによるセミナー等が数多く開催されております。昨年末から今春にかけて、
- ◆ 自治体のインフラ維持管理・老朽化対策事例
- ◆ 医療・介護・健康データ利活用基盤の高度化
- ◆ 映画で考える在宅医療
- ◆ 放課後活動における子供への声かけ、メンタルケア活動について

等を受講しました。

区政が扱う範囲は幅広く、また、社会の変化に伴って、新たな課題や解決の仕組み等も数多く発信されております。
様々な情報に目配りし、**常に新たな知見を蓄積**できるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。

公園ワークショップ

前号（第73号）でもご報告した通り、「**富士見丘北公園の拡張整備**を考えるワークショップ」が、昨年～今年にかけて開催されました。昨年開催された第1・2回に続き、今年1～2月に開催された第3・4回にも見学参加し、3月に開催されたオープンハウス形式の説明会にも足を運びました。

今後は**令和6年度の供用開始**に向け、具体的な公園の設計や工事が行われます。進捗のチェック等、今後も状況を確認していきたいと思います。

次回の定例区議会（令和4年第2回定例会）は、5月20日（金）開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX：03-3247-8660　もしくは　E-Mail：ikuma@gakushikai. jp

杉並区議会議員（無所属）
岩田いくま　区政報告
第74号（令和4年春号）

発行：岩田いくま　〒168-0082　杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX；03-3247-8660　E-Mail；ikuma@gakushikai.jp
HP；http://ikuma-iwata.net　（←毎日更新しています！）

岩田いくま（生真）略歴：昭和46年（1971年）生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和元年5月より5期目。
趣味：バレーボール（大学時代は母校で部活動のコーチを行う）、読書。
家族：妻、長男（19歳）、長女（16歳）、次男（14歳）。

P.1　令和4年度当初予算について
P.2　議会での活動について
（「予算編成方針とその概要」に対する代表質問）
P.3　議会での活動について
（予算特別委員会）
P.4　調査活動／地域での活動について

令和4年度当初予算、可決される

3月16日（水）、区議会において令和4年度杉並区一般会計予算が可決されました。
私は、①健全財政への取組が見られること ②新基本構想に基づく事業が適切に予算化されていること等から、一般会計予算に賛成しました。
以下、2月10日（木）に行った岩田いくまの代表質問と区長の答弁を抜粋します。

（岩田いくまの質問）
財政の健全性を確保した予算であるとのことだが、「財政運営の基本的考え方」に照らして説明を求める。

（区長の答弁）
①財政調整基金（貯金）は、取り崩しを行わず、今後のコロナ対策等を見据え、基金残高の維持に努めた。
②施設整備基金（貯金）は、今後の施設の更新需要の増加を考慮し、取り崩しの圧縮に努めた。
③区債（借金）は、適債事業(*1)の一部について、区債を活用しない判断をした。
(*1)区債発行の対象として認められる事業

（岩田いくまの質問）
①コロナ対策以外に、既に補正予算での対応を考えている事業はあるか。
②**新基本構想に基づく各種計画事業**の中で、当初予算案に盛り込まれなかったものはあるか。

（区長の答弁）
①整備が進み補助額が確定した後に補正予算での対応を予定している保育施設の建設助成等、4事業。
②補正予算対応を考えている4事業以外にはない。

7年ぶりに財政調整基金からの取り崩しを行わなかったことや、新基本構想に基づく各種計画と予算案が整合していること等から、令和4年度予算には賛成をしました（昨年は、「財政面から見た区政の持続可能性に対する危機感が不足している」と考え、当初予算に反対）。
一方で、議会での予算審査を通して、「これまで同様、民間にできることは民間に、という考え方が原則」としながら「新自由主義(*2)的な行革概念からの脱却を図る」と述べる等、**区長の発言には理解に苦しむものが散見され、今後の区政運営に対する不安**も残りました。
今後とも「是々非々」の立場で区政に向き合い、より良い杉並区となるよう取り組んでまいります。
(*2)政府の積極的な民間介入に反対するとともに，古典的な自由放任主義をも排し，資本主義下の自由競争秩序を重んじる考え方。

代表質問

P．1でも取り上げたとおり、2月10日（木）に、区長による「令和4年度予算の編成方針とその概要」に対し、代表質問を行いました。全体では48問の質問を行いましたが、以下、その一部を取り上げます。

＊代表質問の様子は、杉並区議会公式ホームページの本会議録画放映（下記）でご覧いただけます。
http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video_Search.asp

【民間との協働】

（岩田いくまの質問）

昨年は、指定管理者の指定に関し、賛成24票、反対21票という議案もあった(*3)。**民間委託・指定管理者制度の導入はおおいに歓迎**するが、プロセスに疑義をもたれてはかえってマイナスとなる。**競争性・公正性・透明性をどう担保**していくのか。

(*3)昨夏の緊急事態宣言中、区長及び幹部職員が区内の経済団体との会合（飲食・宿泊を伴う）のため、県境を越えゴルフ場を訪れていたことがマスメディア等でも報道されました。昨年の第3回定例区議会（9月～10月）において、この経済団体トップの経営する企業が阿佐谷地域区民センター外3施設の指定管理者に指定されましたが、前記会合が開催されたのは、この選定を行っている期間中でした。私は、これらの経緯から、**当該議案には反対**しました。

（区長の答弁）

新たな協働の仕組みづくりを検討する中で、公正な競争環境や透明性等の確保についての検討も行う。

【文化・スポーツ活動支援】

（岩田いくまの質問）

区民による文化・スポーツ活動の場として、**学校施設を地域の公共財として一層活用する仕組み**に注目している。また、こうした中から、利用団体の活動に小中学生が参加する等、新たな交流の仕組みを構築していくことも可能ではないかと思っている。今後の展望は。

（教育長の答弁）

モデル事業の評価・検証をする中で、有効活用に適した施設のあり方等も整理し、対象校の拡大等につなげていきたい。

【特養／在宅医療・介護連携】

（岩田いくまの質問）

①昨年12月、ウェルファーム杉並(*4)にオープンした**特別養護老人ホーム「フェニックス杉並」**の入所状況等は。

②「ウェルファーム杉並複合施設棟」と隣接しているメリットは。

(*4)ウェルファーム杉並は、特別養護老人ホーム棟と複合施設棟で構成されており、複合施設棟には、福祉事務所や社会福祉協議会、在宅医療・生活支援センター等が設置されている。

（区長の答弁）

①入所者数は12月末現在51名(*5)だが、家族等との面談が進んでおり、順次入所者が増える見込み。併設の診療所は地域での訪問診療を行っている。

②区とウェルファーム杉並内の施設の運営を行う3法人は協定を結び、**在宅医療・介護連携の推進に関して協力**をすることとしている。「誰もが気軽に利用できる福祉と暮らしのサポート拠点」となるよう、取組を進めていく。

(*5)定員は180名。

【学校教育】

（岩田いくまの質問）

デジタル時代の学校教育における**非認知能力(*6)の涵養**について、教育委員会の見解は。

(*6)意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。

（教育長の答弁）

変化の激しい予測困難なデジタル時代においても、仲間と協力して解決する力等、非認知能力を豊かに育むことが重要。全ての教育活動を通して、一人ひとりの子供に自信や誇りをもたせたり、粘り強く最後まで取り組んだりすること等を経験させることによって、より良く人生を生きていくための力を育成するよう、学校を支援していく。

予算特別委員会

3月3日～15日、予算特別委員会が開催され、4日、9日、11日に質問者として登壇しました。以下、その一部を取り上げます。

＊予算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映（下記）でご覧いただけます。
http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

4日	基金と区債
	預貯金等調査システム
9日	国民健康保険事業会計等特別会計
	事業の見直し・廃止等（保健福祉部、子ども家庭部、環境部）
	自立支援センター
	（仮称）共生社会しかけ隊
	子どもアドボカシー
11日	事業の見直し・廃止等（都市整備部、教育委員会、全体）
	下水道浸水対策
	学校ＩＣＴ担当課長の新設
	教育委員会におけるコロナ対策

【（仮称）共生社会しかけ隊】

令和4年度からの新規事業として、「『（仮称）共生社会しかけ隊』を結成しての活動」が挙げられました。これは、

①**障害当事者、支援者、専門家等からなる「（仮称）共生社会しかけ隊」**が、店舗や施設等地域の様々な場所に出向き、出向いた場所の職員と利用する際の困難さを解決するための意見交換を行い、配慮ある工夫した取組の実践につなげる

②その取組をリーフレット等で発信するとともに、ガイドラインの作成につなげていく

ことを通して、**共生社会の実現を目指していく事業**となっております。

杉並区では以前、障害者団体連合会と公益財団法人共用品推進機構が、合理的配慮の普及・啓発を目的として**「良かったこと調査」**を行っております。

今回の取組は、この発展形として、**実践事例を拡げる取組**である旨、答弁を得ました。

地に足の着いた良い取組ですので、着実に進めてほしい旨を要望しました。

【下水道浸水対策】

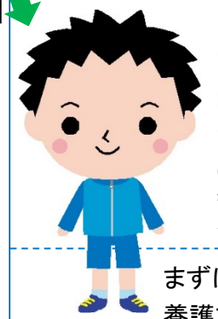
2月に、**東京都が「下水道浸水対策計画2022（案）」を公表**しました（計画期間：令和4年度～18年度）。

そこでは、①過去の浸水実績②流出解析シミュレーションの結果　を踏まえて、新たに重点地区が10地区選定され、杉並区では、**久我山・西荻南・井草**の3カ所が選定されました。

地元区の役割として、事業用地の確保や住民との合意形成に連携協力をしていく旨、答弁を得ました。

豪雨水害対策として、下水道の浸水対策は着実に進めていく必要があります。今後も都の動きに留意していきたいと思います。

【子どもアドボカシー】



令和8年度の区立児童相談所開設に向けて、令和4年度から「子どもアドボカシー(*7)」に関する研修が実施されることとなりました。

(*7)子どもの意見を聴きながら、子どもが自らの考えを整理することへの支援や、意見を表明することへの支援を行うこと。

まずは子ども家庭支援センターや児童養護施設の職員を対象に研修を実施する旨の答弁を得ましたので、**将来的には子供に関わる他の職種・部署や区民ボランティア等にも研修対象を拡げていってほしい**旨を要望しました。

私自身も、質問に先立ち、書籍で知識を得ましたが、地域の大人のひとりとして、今後も子どもアドボカシーへの理解を深めていきたいと思います。